

－ 記者発表資料 －

横浜港本牧ふ頭に過去最大の超大型船が初入港しました！

本日、CMA CGM社（フランス）のコンテナ船「^{エービーエル} ^{エス} ^{プラネイド} ^{アイド}」
（全長約370m、船幅51m、最大積載数13,892TEU（注1））が、横浜
港本牧ふ頭D4コンテナターミナルに初めて入港し、同船の初入港を記念した歓
迎式典において記念品の贈呈などが行われました。

同船は、CMA CGM社が運航する中南米航路「^ア ^ク ^サ ^{アイ}」に投入されて
おり、本牧ふ頭に寄港するものとしては過去最大の14,000TEU型のコンテナ船に
なります。

なお、同航路に投入されている13,000TEU型の船についても、順次、本牧ふ頭
D4コンテナターミナルに入港しています。

今後も横浜港では、アジア諸港におけるコンテナ取扱量の急増、スケールメリ
ットを追求するためのコンテナ船のさらなる大型化や、船社間のアライアンスの
再編等により寄港地の絞り込みが進展している中、大型船の入港や増加する貨物
に対応するための取組を進めてまいります。

（注1）TEU：20フィートで換算したコンテナ個数

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、 横浜市政記者会、物流専門紙		
問い合わせ先		
○国土交通省関東地方整備局 港湾空港部		
港湾高度利用調整官	田尾 雄喜（たお ゆうき）	TEL：045-211-7437
○横浜市港湾局 港湾物流部物流運営課		
担当課長	山本 智（やまもと さとる）	TEL：045-671-2919
○横浜川崎国際港湾株式会社 営業部		
営業部長	鹿島 聖峰（かしま きよみね）	TEL：045-680-6583



(前列右から、国土交通省浅輪港湾局長、CMA CGM JAPAN(株)内田社長、横浜市中野港湾局長、ポートガイド)
(後列右から、横浜港埠頭(株)伊東社長、関東地方整備局石橋副局長、(株)住友倉庫宗常務執行役員、
横浜川崎国際港湾(株)人見社長、横浜港運協会藤木会長)



(参考1) 本船詳細

本 船 名 : A P L E s p l a n a d e
船 籍 : シンガポール
総 ト ン 数 : 1 5 1 , 0 1 5 G / T
最大コンテナ積載数 : 1 3 , 8 9 2 T E U
全 長 : 3 6 8 . 8 2 m
船 幅 : 5 1 m

(参考2) 中南米航路「ACSA1」寄港地

蛇口・香港・高雄・寧波・上海・釜山・マンザニロ・ラサロカルデナス・プエナビントウラ・カヤオ
・グアヤキル・フエルト・ケツアル・ラサロカルデナス・マンザニロ・横浜・釜山・蛇口

(参考3) 13,000TEU型「ACSA1」投入船

CMA CGM A l a s k a (12,917TEU): 令和3年11月18日入港

CMA CGM N e v a d a (12,917TEU): 入港未定